



# ありのままの自分で生きる

福岡県は、LGBTQ（性的少数者）の生きづらさ解消と偏見や差別をなくすための取り組みとして「福岡県パートナーシップ宣誓制度」を4月1日から開始しました。自身も性的少数者である下田耕平さんに聞きました。

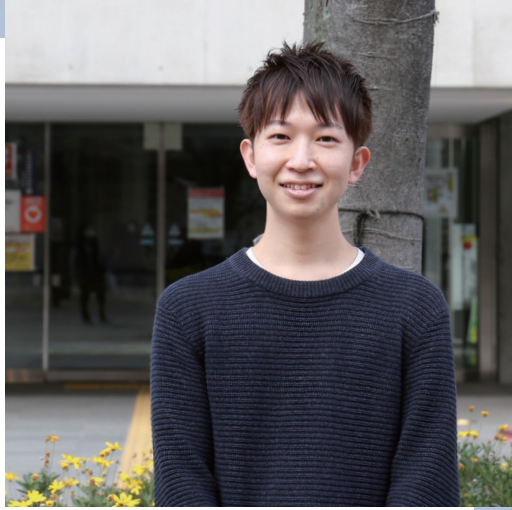
## 「無意識」から「意識的」に隠すように

幼少期に見ていたのは、女の子向けのアニメ番組でした。買ってもらうのもアニメの人形などでしたが、店で同級生に会うと、無意識に隠れていました。恋愛対象が男性と自分の中で認識したのは高校生の時です。性の対象がはっきりしてからは、意識的に自分の感情を隠して恋愛の話をするなど、周りに合わせていました。

## 繕っている自分と区切りをつける

大学生になると、自分と同じ性的指向の人と出会うきっかけができました。自分の気持ちを素直に出せる場所があるのは楽でした。ただし、多くの人と話を合わせるために表面を繕って、

「誰もが自分を偽らずに生きていける社会になってほしい」と語る下田さん



下田耕平さん

自身も性的少数者で、新型コロナウイルス前は、同じ性的指向の人との交流会を主催。コロナ禍で交流会は中止。令和2年に自身の体験を記した本を出版。平成4(1992)年生まれ

自分の気持ちを抑えることは続けていました。性的少数者をネタに笑っている人を見ていたからです。しかし、繕っている自分と区切りをつけたいと思い、卒業時に友人一人一人に話しました。驚いてどう反応したらいいかわからない人が多かったのですが、誰も批判することなく、話を聞いてくれたのはうれしかったですね。話したことで、これまで以上に仲良くなった人もいました。社会人になってからは、同じ性的指向の人と関わりたくて交流会も開催しました。本音で話せる場所を持つことは大事なんです。

## 知らないだけで身近にいることを知る

母親に話したとき、「あなたはあなただから」と言ってくれました。本を出したのも同じ時期。本にすることで、同世代の人に知ってもらえたり、同じ性的指向の人の参考になるのではないかと考えたからです。LGBTQの人の多くが、自分を隠して生きていると思います。話したときの周りの反応が怖いし、差別的発言を受けることで傷つくこともあるからです。当事者がいることは知っているだけでなく、「身近にいる」と想像してほしいですね。悪気がない一言でも人を傷つけます。その事実を理解する人が増えれば、誰もが本来の自分で生きていける社会に近づくと感じます。

☎ 人権・同和対策課

(☎ 0942・30・9045、FAX 0942・30・9703)

## ■保険適用に伴う助成金の経過措置

不妊治療	令和3年度	令和4年度
助成制度	年度をまたぐ1回の治療	
	助成金	経過措置
医療保険制度	保険適用 令和4年4月から	

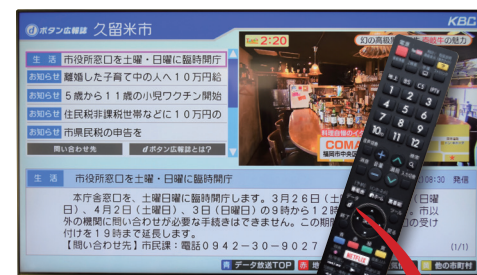
助成制度と医療保険制度の併用はできません

令和4年度は、移行期の治療計  
■対象者  
申請日にいずれかが久留米市に住民登録がある夫婦(事実婚を含む)。治療開始日に妻が43歳未満。令和3年度までに受けた一子あたりの助成上限回数を超えない  
■上限額  
30万円。ただし、凍結した胚を移植した場合などは10万円。令和4年度中に1回のみ  
☎ 0942・30・9731、FAX 0942・30・9718



- ① Google Play ストアか AppStore から LINE アプリをダウンロード
- ② アプリの説明に従って LINE を登録
- ③ 久留米市と「友だち」になる
- ④ 受信設定から欲しい情報を選択

ページが現れます。ときは、画面に触れると市ホームページが現れます。



- ① KBC (1ch) を視聴
- ② リモコンの「d ボタン」を押す
- ③ 「d ボタン広報誌」を選び、見たい情報を選択

d ボタン広報誌は、インターネットの接続は不要です

# 年度をまたぐ治療には助成金

4月から体外受精・顕微授精などの特定不妊治療が保険適用になります。それに伴い、特定不妊治療費の助成は3月末で終了します。

## 保険適用に伴う経過措置

令和4年度は、移行期の治療計

面に支障が出ないよう「年度をまたぐ1回の治療」に対し、経過措置として費用の一部を助成します。  
■対象となる治療  
体外受精、顕微授精。いずれも治療開始日が3月31日以前で、令和4年度中に治療が終了した場合

# 知りたい情報をスマホでいち早く

## スマホやパソコンで

スマホやパソコンで市公式LINEを登録すると、新型コロナウイルスの状況やワクチン接種の案内、イベント情報など欲しい情報がいち早く届きます。詳しく知りたいときは、画面に触れると市ホームページが現れます。

## テレビのdボタンで

九州朝日放送(KBC)の「dボタン広報誌」で、災害時の緊急情報や暮らしに役立つ情報を発信中。リモコンの操作だけで、無料で視聴できます。  
☎ 広報戦略課(☎ 0942・30・9119、FAX 0942・30・9702)